



InterSafe CATS v4.0 補足資料

Build0378 Windows8.1 での他社製品との同居について

InterSafe CATS V4.0 他社製品との同居 3

InterSafe CATS Ver.4.0 (Build0378) Windows8.1 での他社製品との同居について	3
【製品名】 Symantec Endpoint Protection	4
【製品名】 カスペルスキー インターネットセキュリティ	5
【製品名】 G Data トータルプロテクション 2014	8
【製品名】 ESET パーソナルセキュリティ 2014	10
【製品名】 エフセキュア インターネットセキュリティ 2014	12
【製品名】 Windows Intune	14

InterSafe CATS V4.0 他社製品との同居

InterSafe CATS Ver.4.0 (Build0378) Windows8.1 での他社製品との同居について

InterSafe CATS は他社製品と同居した場合、ブラウザが動作しない、ネットワーク接続ができなくなる、同居製品が一部動作しないなどの問題が発生する可能性があります。

本資料では、CATS Ver.4.0(Build0378)と同居した際の、各製品毎に回避策の説明をしております。設定の際の参考にしてください。

※CATS クライアント(Windows 端末)のバージョンについては、こちらを参照ください。

[No.3427 インストールされている CATS のバージョンを確認する方法](#)

【製品名】 Symantec Endpoint Protection

【現象】

Symantec Endpoint Protection がインストールされた状態で、CATS クライアントのオンラインインストール時に Symantec Endpoint Protection の警告画面が表示されます。

【インストール順】

1. Symantec Endpoint Protection 12.1.4
2. CATS クライアント（オンラインインストール）

【回避策】

Symantec Endpoint Protection の表示画面で「このファイルを許可する」を選択する



上記「このファイルを許可する」押下後に表示されますので、OK をクリックしてください。



【製品名】カスペルスキー インターネットセキュリティ

【現象 1】

CATSクライアントがインストールされた状態で、カスペルスキーのインストールはできるが、アクティベーションができません。

【インストール順】

1. CATS クライアント
2. カスペルスキー 2014 マルチプラットフォーム セキュリティ

【回避策】

CATSクライアントのインストールの前に、カスペルスキーのアクティベーションを完了させてください。

※ 各製品の設定で回避することができないため、インストール順を変えることで回避します。

【回避手順】

1. CATSクライアントを一旦アンインストールします。
2. カスペルスキーのアクティベーションを行い、完了させてください。
3. CATSクライアントを再インストールします。

【現象 2】

CATS と同居時に、カスペルスキーのアップデート、CATS の Lookup 通信、Web 閲覧ができません。

【回避策】

カスペルスキー側の設定において、NSFF Local Proxy Service のネットワークトラフィックをスキャンしない設定にします。

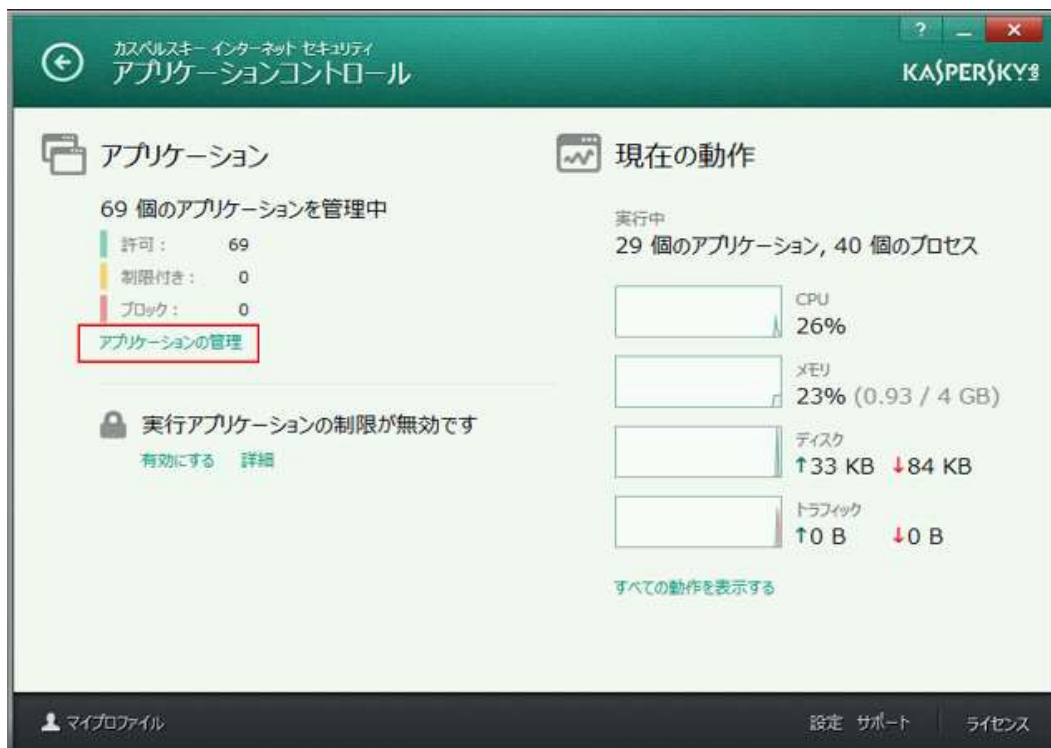
【回避手順】

1. タスクトレイからカスペルスキーのアイコンをダブルクリックし、カスペルスキー管理画面を開きます。
2. 「↑」をクリックしてすべてのメニューを表示し、「アプリケーションコントロール」をクリックします。





3. 「アプリケーションの管理」のリンクをクリックします。



4. 「NSFF Local Proxy Service」の行をダブルクリックします。



5. 「信頼リスト」のタブにて、「ネットワークトラフィックをスキャンしない」にチェックを入れ、保存をクリックします。



6. 上記設定が完了したら、PC 端末を再起動してください。

【製品名】 G Data トータルプロテクション 2014

【現象】

CATS と G Data トータルプロテクション 2014 同居時にウェブ閲覧に遅延が発生します。

【回避策】

G Data の管理画面を開き、ウェブ保護の例外設定に CATS の Lookup サーバーのホスト名を追加します。

【回避手順】

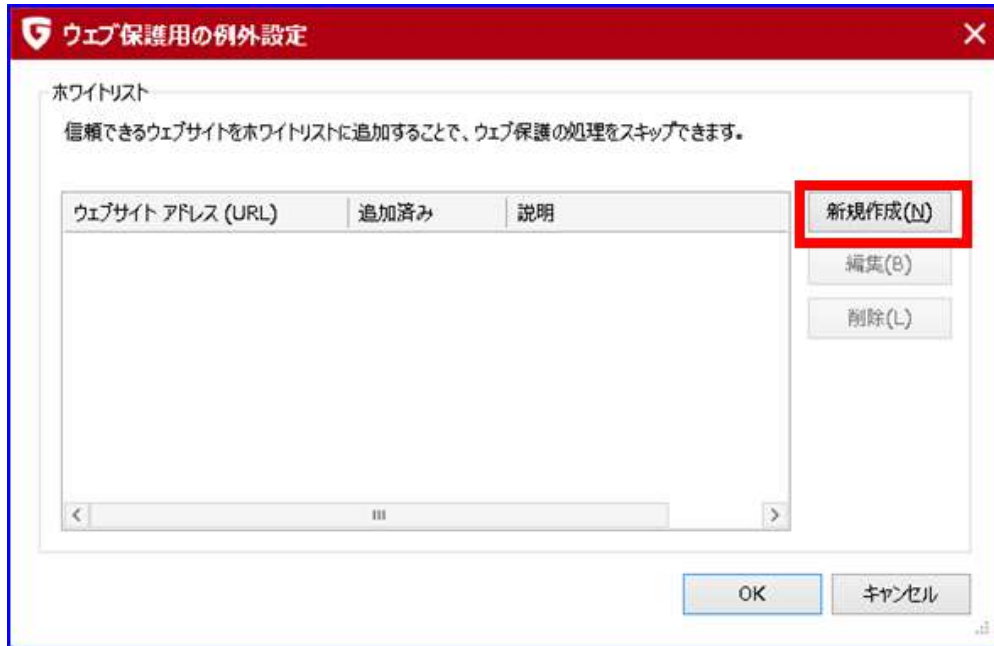
1.ウェブ保護を開きます。



2. 「例外を設定」を選択します。



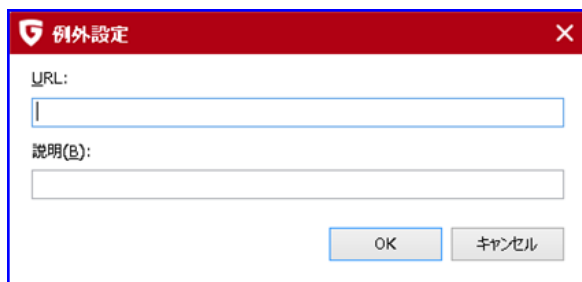
3.新規作成をクリックします。



4.URL に CATS の Lookup サーバーのホスト名を入力し、OK をクリックします。

ホスト名 :

※説明は任意入力です。



5.入力したホスト名が追加されたことを確認し、OK をクリックします。



【製品名】 ESET パーソナルセキュリティ 2014

【現象】

CATS クライアントがインストールされた状態で、ESET パーソナルセキュリティのアクティベーションを行うと失敗します。

【インストール順】

- 1.CATS クライアント
- 2.ESET パーソナルセキュリティ 2014

【発生条件】

グループ書き込み規制が有効な時に発生します。



【回避策】

グループ書き込み規制を無効に設定して、再度アクティベーションを行います。ただし、こうしてアクティベーションした後、動作はしているにもかかわらず、設定画面には「アクティベーションされていません」と表示されます。

CATS アンインストール後、再起動すると、正常表示になります。





【製品名】エフセキュア インターネットセキュリティ 2014

【現象 1】

F-Secure インターネットセキュリティと CATS クライアントが同居している状態で、CATS クライアントから通信が発生すると、初回に限り F-Secure の警告画面が表示されます。

【回避策】

下記のような警告が表示された場合、それぞれ、「アプリケーションの実行を許可」を選択して OK をクリックしてください。



【現象 2】

CATS クライアントと同居していて、グループ書き込み規制が有効な状態で、F-Secure インターネットセキュリティの更新に失敗します。



【回避策】

CATS のグループ書き込み規制を無効にしてください。

【現象 3】

CATS クライアントインストール済みで、グループ書き込み規制が有効な状態で、F-Secure インターネットセキュリティのインストールにおいて、ライセンス認証に失敗します。



【インストール順】

- 1.CATS クライアント
- 2.F-Secure インターネットセキュリティ 2014

【回避策】

CATS のグループ書き込み規制を無効にしてください。

【製品名】 Windows Intune

【現象 1.】

グループ書き込み規制が有効である場合に、WindowsIntune のポータルサイトにログインできません。

ログイン時に書き込み規制画面が表示されます。



【発生条件】

グループ書き込み規制が有効である場合に発生します。

【回避策】

グループ書き込み規制を無効に設定してください。

【現象 2.】

HTTPS フィルタリング有効時に、Windows Intune の リモートタスク機能を実施しても

対象 PC にて動作しません。



【発生条件】

HTTPS フィルタリングが有効である場合に発生します。

【回避策】

HTTPS フィルタリングを無効に設定してください。

InterSafe CATS v 4.0 補助資料

2014年2月 第1版

作成/発行/企画 アルプスシステムインテグレーション株式会社

〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町 1-7

※記載されている会社名および商品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

- ・本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容の一部、または全部を無断で転載、あるいは複写することを禁じます。
- ・本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一記載に誤りや不完全な点がありましたらご容赦下さい。